

令和4年9月5日

寮生及び保護者 各位

函館工業高等専門学校 寮務主事

【重要】開寮に伴う留意事項等について

9月11日の開寮にあたり、寮生及び保護者の皆さんに留意いただきたい事項等を、下記のとおりお知らせいたしますので、ご確認ください。

記

1. 帰寮について

帰寮にあたっては、体温を測定し、発熱（37.5℃以上）等の症状がないか確認してください。発熱や体調に異変がある際は決して無理をせず、帰寮を取り止め、安静にしてください。（同居している家族に発熱や体調の異変がみられる際も、帰寮を取り止めてください。）その際は、担任と寮務係に必ず報告してください。

開寮後すぐに前期期末試験があり、そのために少しの体調不良でも無理をして帰寮しようという方がいるかもしれませんが、寮内における感染予防のため、決して無理に帰寮しないでください。休みをとった期間の授業や試験等に対する学校の配慮については、担任に相談してください。

帰寮前にPCR検査や抗原検査を受検することを推奨します。
(無料の検査所等についてはご自身でお調べください)

2. 開寮後の新型コロナ陽性者・濃厚接触者への対応について

9月1日現在、函館市内の新規感染者数は夏季休業前とほとんど変わりません。そのため、新型コロナ陽性者が寮内で発生しても、宿泊療養施設への移動が難しい状況が予想されます。

寮で準備している安静ゾーン（隔離用の居室）は、「体調不良者が病院・宿泊療養施設への移動あるいは帰省までの間、一時的に隔離する」ことを目的としており、新型コロナ陽性者の療養スペースではありません。安静ゾーンの中で陽性者と濃厚接触者の動線を完全に分けることが施設上不可となっており、また、寮には看護師等の専門知識を持った人員はいないため、コロナ陽性者の急な体調の変化等に対応することができません。

このように、「寮生の安全を十分に確保できない」ため、今後は新型コロナの陽性が判明した寮生及び濃厚接触者となった寮生については、自宅への帰省を原則とします（各家庭の事情は考慮できません。寮生も通学生と同様に自宅療養となります）。

自宅が本州等にあり帰省できず、宿泊療養施設への移動が難しい場合は、国際寮での療養となります。この場合、建物が春潮寮と完全に分離しているため、食品衛生の観点から、春潮寮食堂から食事を運ぶことができません。国際寮は個別の冷凍冷蔵庫があり、IHクッキングヒーターによる自炊が可能ですので、療養期間中は自炊をお願いします。

以上

【担当】 学生課寮務係（TEL：0138-59-6337）

Mail：ryomu-ml@hakodate-ct.ac.jp